

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	21	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域住民とイベントでの交流、清掃活動に参加している。公民館活動への参加が実施出来ていない。	1	交流の内容が限定されており、もっと幅広い内容に取り組んでいきたい。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	自立支援の理解は、共有出来ているが、実践に結びついていないケースがあり、声掛け、指導を行っている。	1	在職年数にかかわらず、理念をしっかりと伝え、共有し実践につなげていきたい。
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入所時に家族にはGHとしての思いは説明している。理念という形では説明していないが、理解は出来ている。また地域運営推進会議においては思いを伝えている。	1	地域で交流したこと等、会報誌、面会時にお話しし、理解を深めている。	
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所への声掛けは出来ている。	1	管理者交代に伴い、気軽に立ち寄って頂ける関係作りを構築していきたい。
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会へは加入しているが、活動への参加は入居者様のADLの低下に伴い参加がしにくくなってきている。現在は近所の清掃活動の参加のみである。	1	参加できるものへの参加を積極的に行いたい。事業所として、認知症介護の専門職としても、地域に貢献出来るのではないかと考えている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症を抱える家族の体験談を、地域運営推進委員会を通じて認知症の理解に努めている。	1	介護体験、相談、アドバイスが出来たらと考えている。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を経験したスタッフにおいては改善の理解は出来ている。職員のアイデアや主体性を活かせる環境に取り組んでいる	1	職員が生き生きと業務に入ること、改善に対する意欲、向上につながるのではと考える。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動報告を行い、実際にレクリエーションに参加して頂き、意見交換、質疑応答を行い、サービス向上に活かしている。	1	レクリエーションだけでなく、日々の日常の中でも気軽に来て頂けるような関係を構築したい。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターの職員とは、運営推進委員会にいつも参加して頂き、情報交換を行っている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修資料を通じ説明を行っている。	1	御家族や地域住民との交流の中で、説明する機会があると思われる為、活用していきたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修資料を通じ説明を行い、防止に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	御家族には入居契約される時点で、重要事項等の説明を行っている。疑問点、不安事項はその都度説明を行っている。利用者においては、その場で理解できる方でも、時間が経てば忘れてしまう。	1	疑問や納得のいかない事があれば、その都度説明し、理解、納得を図るように努める。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、不満、苦情は、その都度傾聴し、ミーティングにおいて改善に努め、運営に反映できるように努めている。意見箱は設置しているが理解できていない。	1	利用者が、今考えていることややりたいことを聞き取りしている。
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族新聞「ふうせん」で活動報告や利用者の暮らしぶりを報告している。面会時には現況報告、健康状態などを伝えている。金銭管理は個人小口出納帳で管理し、連絡帳に領収書を貼り、使途、残金の確認をして頂いている。	1	職員全員がパソコンで出来るよう指導に努める。
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族等の意見、不満、苦情はその都度聞き、意見箱を設置している。	1	担当制をしいているので、職員も積極的に御家族とコミュニケーションとるよう努めている。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見は、取り上げ聞いてもらっている。	1	スタッフの意見や提案が出せる雰囲気、環境を作り、スタッフ個々のレベルUP、意欲向上に努める。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	夜間、救急時の対応や、状況の変化に応じた対応は、今のところ管理者が行っている。	1	これからも柔軟な勤務体制の確保に努めていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 め の 実 体 制 制	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動はそれほどないが、事由は伝えずにいるとそのまま忘れていく。	1	職員とのコミュニケーションを取ることを心掛けている。
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	5	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢制限はあるが、時間給者を月給制に移行している。自己の能力が發揮できるよう役割分担が出来ている。	1	職員の声に耳を傾け、実現できるよう、今後とも努める。
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	することが介護ではなく、生涯発達、自立支援を促し、言葉使い、傾聴、見守りを厳守していくよう啓発している。	1	スタッフに対する人権教育を継続して行っていく。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修に出席出来るよう配慮し、勤務調整を行っている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームや施設との交流の機会を定期的に行っている。	1	介護技術でのレベルUPを交流の機会に取り組んでいきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	適宜、個人面談を行い、ストレス解消に努めている。休憩所が無い為、落ち着いて休憩がとれていない。	1	職員が慣れてしまっている感はあるが、休憩時間の確保は急務である。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者に管理者が個々の努力、実績、勤務状況を報告している。	1	ミーティングに参加してもらい、状況把握や意見交換をおこなっている。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	8	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	4	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りそ その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の困っていること不安なこと、求めていることを個別に居室にて聞き取りを行っている。訴えのタイミングを逃さないように心掛けている。	1	本人のサインを見逃さないように努めている。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御家族の見学を促し、困っていることの相談に応じる。その後、本人面談を行う。御家族の思いに沿えるよう心掛けている。	1	入居に対する思いに配慮するよう努めている。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の対応で出来ること、出来ないことを伝えるが、御家族との連携には努めている。	1	他施設、社会資源との横のつながり、関係を取りながら、早い対応が出来るよう努める。
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人の性格もあるが、御家族と相談しながら、施設の雰囲気馴染めるように、職員が対応している。信頼関係を構築していく中で徐々にサービスを提供していく。	1	個々に応じた、関わりに重点を置き、サービスに努める。そのためには、御家族との連携、相談は不可欠である。
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価6項目・外部評価1項目	4		
係り2 継続 へま これ な関 係づ く の支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人のその日の状況に応じ対応が出来る。スタッフは家族同様、生活してゆく中で、教えられる事や学ぶ事が多々ある。感情をぶつけられることもあるが、すぐに仲直り出来る。施設全体で、喜怒哀楽を共にしている。	1	スタッフ一人が悪者にならぬよう、全員でフォローしている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	親一人、個一人の御家族が多々ある為、御家族の介護負担軽減に努め、安心して頂くことに努め、入居者様には、落ち着いた雰囲気、穏やかな気持ちになるよう努めている。	1	一方通行の介護にならぬよう、ゆったりのペースで生活して頂くよう努める。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	様々な家族関係があり、その背景をふまえつつ、御家族と報告、連絡、相談を行っている。	1	行事等の積極的な参加を促し、双方から支援する関係に努める。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来るだけ、その関係が継続出来るよう御家族等に声掛けをして、今後も継続してゆく。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様の性格や生活環境、生活暦を把握し、テーブルの配置等配慮している。仲間作りを推進しながら、支えあう環境に努めている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入居者様の体調が悪くなり、入院になった場合でも、適宜お見舞いに行ったり、御家族と連絡をとっている。	1	管理者が交代し、退去された方との関係が希薄になっているが、今後も継続した関係作りに努力したい。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	1	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望を聞いて、出来るだけ意向に沿うようにしている。困難時は、その都度本人様の意向を確認し、対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活環境が一変しているため、出来るだけ馴染みの生活が出来る様に努めているが、家族と同居経験のない方がほとんどで、把握が難しい場合がある。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの過ごし方等は把握出来ている。残存能力把握を行い、出来ることはご自分でして頂いて自立支援を行っている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族には、面会時等に要望を聞き、スタッフとケアカンファを行い、居宅療養管理指導の主治医、看護師から意見を聞いて、介護計画を作成している。	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	短期目標を3ヶ月に設定し、介護計画を立て、変化が生じた時には、その都度対応し、見直しを行って計画を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々様子を個別記録に記入し、スタッフ間で情報を共有している。ケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の体調不良時や家族の体調に合わせて、その時々々の要望に応じている。スタッフが足りない時などは、本社や関連の他施設に支援を依頼するなど、柔軟な支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域運営推進委員会を通じて、地域との相互理解は出来ている。具体的な支援は、まだ行えていない。警察、消防との協力・支援は行えている。	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	必要性に応じて、地域包括支援センター、他施設の施設長、管理者との話し合いの中で、情報を得たり、グループホーム協議会の勉強会において、情報収集している。他サービスの利用はしていない。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター職員による、権利擁護の講義を行うなど、協働出来ている。	1	今後も、協働の必要性が、不可欠であり、連携をとっていきたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	原土井病院、ホームケアクリニックと連携を取り、本人や家族の希望を尊重し、居宅療養管理指導の同意を得、副院長に2週間に1度往診を得ている。緊急時は、病院受診にて直ぐに対応出来ている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	居宅療養管理指導をして頂いている主治医が、認知症の専門医なので、スタッフも相談しやすく助かっている。また、その都度、連携をとりながら、薬の処方、検査や入院治療が受けられている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	関連施設の看護師が、定期的に健康管理を行い、相談出来ている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院にあたっては、認知症の進行防止の為もあり、出来るだけ早期の退院をお願いしている。入院時の主治医、看護師、相談室と連携を取りながら、早期退院に努めている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した時や終末期の方針に関しては、家族や主治医、看護師と話し合いを重ね、全員で方針を共有し、支援に取り組んでいる。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居者様が、レベル低下や重度化していく過程の中で、主治医、家族と話し合い、連携を取りながら支援に努めている。本人の変化に対応出来るよう、検討、準備している。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人のグループホームへの入所時や又、グループホームから病院への入院などを移り住み替える相手施設と情報の交換、把握を十分に行い、本人のダメージを最小限に防げるように努めている。面会、面接により、関わりを持つように努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	1	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	1	
		52 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護に努め、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような声掛けや対応はしていない。記録等にも同様である。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様の思いや、訴えを聞き、理解力の有無に関わらず説明している。自己決定が出来る雰囲気を作ることに努めているが、短期記憶が無い為、直ぐに忘れるケースが多い。納得しながら暮らせているかどうかはさだかではない。	1	業務の途中でも訴えがある場合は、訴えのタイミングを逃さないようにしていきたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日どのように過ごしたいか各人に尋ねて、スタッフと入居者様で対話をして行っているが、全員の気持ちに沿っての個別ケアまでは行えていない。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理美容を利用しており、個人の希望に応じた髪型にしてもらっているが、パーマやヘアカラーは行えていない。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備を一緒に行ってもらうように促しているが、同じ人が行っている傾向が強い。後片付けは、自分の下膳、お盆拭きは行えている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒は、忘年会、正月などの祝い事で飲んでもっている。自ら要求する人はいない。飲み物は好みに応じ楽しめており、おやつも提供されたものを食べてあるが、満足されている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパートナー、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来る限り排泄の失敗がないように見守り、トイレ誘導を行っているが、時々失敗はある。個人によりリハビリパンツ、尿とりパットを使用している。使用することで、安心だと言われる方もおられるが、気持ちよさにつながっているのかは不明。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日で入浴を決めているが、行事や、本人の体調、外出する場合は、前後に行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの表情や、体調を観察し、時には臥床を促し休息を心掛けている。室温、寝具を調整し、安心して気持ちよく眠れるように支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や能力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしは一部の人しか行えていないので、他の人には何をどのように提供し、その人らしさを引き出すかを考え行っていく必要がある。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	物盗られ妄想からトラブル発生を防ぐ為、お金は所持せず、預かって管理している。必要時には使えるように支援できている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候により全員に声掛けを行い、自己決断にて散歩で外出を心掛けているが、同じ人の傾向が強い。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月に一回以上の外出は行えているが、御家族と外出や希望に沿った個別対応は行えていない。	0	
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人要望があれば家族に連絡して対応している。家族から拒否、不通もありスムーズに行えていない。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	来客を居室に招き、プライバシーを重んじ、ゆっくり過ごしてもらえるよう配慮している。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員間で具体的な行為、対応策について話し、身体拘束にならないように心がけ、取り組んでいる。	0	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 外部評価29 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけなくてよいように見守っているが、危険防止の為、やもえず施錠する時がある。	0	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人のプライバシーを重んじ、様子把握に努め、安全に配慮している。	0	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要に応じて手渡しし、使用時はも守りにて対応し、使用後は預かり保管、管理して危険防止に努めている。	0	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故及びヒアリハット報告書に記入し、スタッフ間でその都度具体策を考え行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	スタッフは救命救急の講習を定期的受講している。防災訓練を定期的に行うようしているが、実施できていない月もある。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	スタッフは、日頃からの訓練が必要である。地域の人々とは日頃より交流を深め、協力を得られるように働きかけ出来ている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりに起こり得る身体的なリスクについては、入居時に説明している。危険防止を第1に考えた策を実施している。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	スタッフは毎朝バイタルチェックを行い、早期発見に努めている。気づいた際には情報を共有し、速やかに対応策を実施している。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、用法、副作用については、個人カルテに処方箋を付けて、いつでも確認できるようにしている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分量、レク参加、排便などをチェックし、体調管理に努めている。散歩や体操などを実施して、体を動かす時間作りにも努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に口腔ケアを行っている。個人の能力に合わせて支援を行っている。義歯は外し、毎晩ポリドント等で除菌している。	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは栄養士が行っている。毎食の水分摂取だけでなく、朝のバイタル時やおやつの際にも水分摂取が出来るよう努めている。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い、うがい、週1回のリネン交換で感染症の予防に努めている。スタッフは研修などへ参加し、感染症についての理解を深めるように努力している。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	年1回の害虫駆除を行っている。食事前の手洗いを徹底し、食中毒の予防に努めている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価8項目・外部評価2項目	0	
	2 生活の環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価5項目・外部評価2項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ベランダにウッドデッキを置き、花を飾ったりして工夫している。誰でも自由に出入り出来るように日中は門扉を開放している。	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレ、浴室では、カーテンを付けて事で、プライバシー保護に努めている。共用スペースでは、普通の家族の雰囲気を大切にしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用のスペースでは、自然に仲間作りが出来ている。自室では、馴染みの物を置き、独りで自由な時間を過ごせるようにしている。	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物や好みの本や写真を飾り、心地よい空間作りが出来ている。気の合う入居者様同士一つの部屋に集まり、歌やおしゃべりを楽しむ姿も見られるようになってきた。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに掃除や換気を行い、空気の清浄に努めている。ポータブルトイレには、消臭剤を設置し、気になる臭いがしないように努めている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には手すりを設置して、つたい歩きが出来るようにしている。また、危険因子を取り除き、安全で自立した生活が送れるように努めている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	直近の記憶をとどめる事が出来なくなった方も多くなってきたが、声掛けや関わりを工夫し、自立した生活を送れるように努めている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダに椅子を並べており、花を眺めたり、お茶やランチを楽しむことが出来ている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。